

特集 地域の担い手と議会

里山の魅力を守り、どう伝えていけるのか——。今号の特集では、地域資源を生かした取り組みの現場から、そのきっかけや思い、未来への展望まで、持続可能な営みを続ける地域の担い手の姿を紹介します。



櫻田 稔さん

【プロフィール】

里山の花畑・里の小屋 友の会代表。安中市上間仁田と富岡市との境にある崇台山（そうだいさん）のふもとにて里山の保全活動に取り組んでいる。

■令和6年3月18日、環境省の「自然共生サイト※」に上間仁田の「里山の花畑と崇台山の山麓」が認定されました。具体的にはどのような活動をされているのですか。

櫻田さん：蛍が暮らせる環境を守りながら、1年を通して発生状況をチェックして、データもためているところが評価されました。それに、農薬を使わない田んぼづくりで、タガメなど絶滅危惧種も住める環境を守っています。さらに、しいたけの駒植え（菌糸を培養したものを原木に植え込むこと）体験をやったり、蛍の撮影会を開いたりして、県外からも多数の来場者が訪れます。夏にはブルービー※やオオセイボウ※等が数多く飛び交い、自然の豊かさも発信しています。こうした取り組みが評価されて、「自然共生サイト」に認定されました。

■活動を始めたきっかけを教えてください。

櫻田さん：時代に押されて耕作放棄地が増えていきました。その中で有志が手をかけ始めたの



崇台山のふもとにある里山



崇台山の大桐

※自然共生サイト … 令和5年度から環境省が認定している「民間の取り組みなどによって生物多様性の保全が図られている区域」。

※ブルービー … その鮮やかな青色と、珍しさから「幸せを呼ぶ青い蜂」とも呼ばれる。正式名称は「ルリモンハナバチ」。

※オオセイボウ … 空飛ぶ宝石と呼ばれる蜂。エメラルドグリーンの輝きは見た人を釘付けにする。